

2 輪貸切走行車両規定

1. 一般公道と異なり、常に限界のスピード走行が続きます。ブレーキトラブルやオイル漏れなどが発生すると他の走行車両を巻き込む重大な事故につながります。走行前には必ずオイル・ガソリン・冷却水などの漏れやボルトの緩みがないようドレン類の確認もしてください。
2. ゼッケン番号をフロント、両サイド（もしくはうしろ上部）に装着してください。
3. オイル漏れの事故が多発しています。オイル受けアンダーカウルの装着を強く推奨します。
4. バックミラーがついている場合は取り外してください。外せない場合は、全面テーピングした上で折りたたむなどの処置をしてください。
5. 傾斜（バンク）の妨げになるようなスタンドは取り外してください。
6. 次の箇所のワイヤーロックを強く推奨します。
 - ・ドレンボルト　　・オイルエレメント　　・フィルターキャップ
7. 次の部分の取り外しを強く推奨します。
 - ・スタンド（サイド/メイン）　　・タンデムステップ　　・バックミラー　　・ライト・ウィンカー類
8. タイヤの空気圧調整は必ず行い、著しく摩耗したタイヤでは走行しないでください。

2 輪貸切走行装備

走行車両には必ずゼッケンを貼ってください（前、両サイドもしくは後ろ）

1. ヘルメット…フルフェイス型のものに限り、一度転倒などで衝撃を受けたものや、外傷等がないものでも使用が2年以上過ぎたものは衝撃吸収力が低下している場合があるので新しいものと交換をお願いします。
2. レーシングスーツ…革もしくは革と同等の素材で MFJ 公認ものを推奨します。ただし、2ピースの場合は MFJ 公認もの（チャックなどで上下がつながるタイプ）を使用するようにしてください。
3. グローブ…革製もしくは革と同等の素材で指先・手首を覆われているものに限り、推奨します。
4. ブーツ…レーシングタイプのブーツ。
5. 次のものの装着を強く推奨します。
 - ・脊椎パッド　　・ヘルメットリムーバー　　・チェストプロテクター　　・エアバック

注意事項

1. 走行前には車両をチェックしてボルト類の緩みやオイル・水などの漏れがないかを確認すること。
2. ピット・パドック
 - ①ピット・パドックの禁止事項
 - ・火気厳禁　　・喫煙　　・傘の使用（ピットサインエリア・ピットレーン禁止）
 - ②廃油は決められた廃油缶に入れてください。こぼした場合はすぐに拭き取ってください。
 - ③ピットロードはすぐに停まれる速度で徐行してください。
3. コースイン・コースアウト

コースインするときは後方を確認して合図を送り、右側（インベタ）走行でしばらく走行してください。いきなりレコードラインを走行するのは危険です。

コースアウトするときは手前から後続車に合図を送り、右側（ピット側）を走行してください。急なコース横断や急なスロー走行は危険ですのでやらないでください。
3. 走行について
 - ①サーキットは一方通行です。非常時に許されることもありますが、それ以外は、セーフティーゾーンやピットロードも逆走禁止です。
 - ②ライダーは、シグナルやフラッグを確認し、それに従う義務があります。
 - ③不必要な急減速や相手を妨害するような無茶な走りは危険ですので行わないようにしてください。
 - ④走行中に他のマシンが原因で自分が損害を受けた場合でも自分のマシンのみの責任を持つのがルールです。感情的に相手を非難したり、損害の請求などしないようにしてください。
 - ⑤転倒した場合、2次災害の防止（後続車にひかれる）などに事故増大を防止してください。
 - ⑥転倒して避難した場合、コースの外に出るまではヘルメットを外さないようにしてください。